

格差を食い止めるために

京都府・同志社国際高等学校 2年 畑中 佑介

何でもないと思って疑わなかったことが幸せだったと気づく……そういう瞬間は、誰しもが一度は経験したことがあるはずだと思います。所詮こんなこと……と言って軽視していたことが、実はとてつもない幸せであったりすることもあると思います。

近年日本では、ネットカフェ難民やニートと呼ばれる所得が低い人がいる一方で、セレブやヒルズ族と呼ばれる非常に高所得な人が生まれてきたことから、格差社会という言葉が非常に多く聞かれるようになってきました。

かつて一億総中流と言われ、みんなより少し努力して働けば、マイホームを持つことができたり、車を買うことができたりと、努力した人は必ず報われる。そういう社会であったため、日本はみんなが必死に働いて、戦後を乗り越え、もはや戦後ではないと言われるほどの経済成長によって、世界の大国の仲間入りを果たしたのではないのでしょうか？

終身雇用制度は崩壊し、何でもかんでも全て競争して、いくら努力しても弱い者や結果を残せない者は、淘汰されていく社会になってしまいました。

これでは、ますます格差が開いて二極化していくのも当然だと僕は思うし、頑張っても努力しても報われない様になってしまえば日本は経済大国から転落してしまうと思います。

この格差という問題は、日本国内にとどま

らず、世界でも南北問題として今後の世界を変えていく上で重要な課題になっていくと思います。日本に普通に住んでいた時、日本が豊かな国などと思ったことは一度もありませんでした。

しかし、今から8年前、僕は父の仕事の都合でインドネシアに住んでいました。そして、今でも初めてインドネシアの空港に着いた日の、不思議な感覚を覚えています。入国ゲートを出ると、父ともう一人見知らぬ男性が僕を待っていました。父は、その男性は運転手の方だと言って紹介してくれました。すると、父と同じ年齢の人が、小学生の僕に深々と頭を下げお辞儀をします。僕には信じられませんでした。

また、車で移動していて信号で停車すると、ギターを持った少年が車の前に来て、歌を歌い始めました。そして、父から500ルピア（日本円で約5円）を受け取ると、彼は去って行きました。

クーラーでガンガンに冷えた車中で、真新しい服を着て、ジュースを飲んでいる僕、一方で、真夏の炎天下の中、着古したシャツに汗を滲ませながら、必死にギターを弾きながら歌っていた彼。

車の窓ガラス越しにですが、初めて格差というものを目の当たりにした瞬間でした。

今後、世界がより豊かになるためにはこの南北格差という問題が非常に大きなキーワー

ドとなると思います。

世界全体の家計資産の半分以上は、世界の2パーセントの富裕層が所持しています。そして1人あたりの資産を見れば日本は上位に位置しています。

つまり、私たちが今このように豊かな生活を送れているのは、多くの人々の犠牲によって成り立っていて、彼らが豊かになっていけないのは、我々が豊かに暮らしているしわ寄せなのです。そう考えると僕はいつも複雑な気持ちになります。

世界の人々が平等に暮らすためには、我々の生活のレベルをかなり落とさなくてはならないそうです。

しかし、一度でも便利な世界を知ってしまった我々には、もう一度昔のようなテレビも携帯電話も冷蔵庫も無いそんな昔の生活に戻れと言われても、絶対に出来るはずがないのです。

では、世界の人々が豊かになっていく方法は無いのでしょうか？僕はその様には思いません。

例えばフェアトレードという方法を皆さんはご存知でしょうか？フェアトレードとは、我々先進国がより良い商品をより安くという風に求めた結果によって生まれてしまった弊害である人身売買、児童労働、ストリートチルドレンやホームレス、エイズという不均衡を是正しようという運動のことです。

僕がこの「フェアトレード」という言葉を

知ったきっかけは、高校1年生の時の担任の先生でした。また、授業の中で先生は、チョコレートやポストカードといったフェアトレードの商品があるとおっしゃっていました。

しかし、フェアトレードについて調べていくうちに、この様な否定的な意見もありました。

企業の立場からして見れば、途上国という不安定な市場で取引をしているのだから、それ相応の利益を得るのは当然であるという主張です。

確かに、我々日本を含めて、多くの先進国が取っている資本主義というものは、企業は市場において他の企業と競争を行って利潤を得るというシステムで成り立っています。

しかし、利潤を得ることが出来るのは、先ほども述べた様に、途上国の人々を利益のために犠牲にしている訳で、一方的に使うだけ使った後は知らん顔といった風ではなく、どこかで、必ずその利益を彼らに対して還元していくべきだと思うのです。

今後より一層、日本は貿易を通して途上国とかかわっていく以上、「フェアトレード」の様な不均衡を少しでも小さくしていくシステムをどんどん積極的に推奨していくべきだと思うし、これが世界第2位の経済大国日本が世界の途上国に対して行う義務だと思いません。

参考資料 UNU-WIDER, "Launch of the WIDER study on The World Distribution of Household Wealth," 5 December, 2006